

文部科学大臣が指定する看護師学校等（高等学校）の 指定申請等の提出書類 記載例

※各様式、及び任意様式書類の一部について、記載例等を掲載しています。

※概要は、文部科学省ホームページ(高等教育局医学教育課)「文部科学省が指定する看護師学校等の指定申請等提出書類の作成手引」を参照してください。

※高等学校の申請の提出に用いる書類の様式は、文部科学省ホームページ(高等学校産業教育振興室)「高等学校における看護教育」を参照してください。

番号	提出書類	様式	ページ
	文部科学大臣が指定する看護師学校等(高等学校)の指定申請等の提出書類, 提出期限		2-3
	申請の有無早見表		4
01	指定申請書, 変更承認申請書, 変更届出書, 指定取消し申請書	第1号	5-7
02	設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類	—	
03	変更事項, 変更年月日, 変更する理由及び変更に伴い措置した事項、を記載した書類	—	8-9
04	指定の取消しを受けようとする理由, 予定時期, 在学中の生徒があるときはその措置	—	
05	学校の概要を記載した書類, 教育課程と指定規則との対比表	第2号(その1) 第2号(その2) ①専攻科2年課程用 ②5年一貫課程用 ③准看課程用	10-14
05-1	添付①校舎等建物の配置図	—	
05-2	添付②校舎等建物平面図	—	
05-3	添付③(校舎が未整備の場合)工程表または工事計画	—	
05-4	添付④専門科目に係る主たる図書の目録	—	
05-5	添付⑤専門科目に係る機械器具, 標本, 模型の名称及び数を記載した書類	—	
05-6	添付⑥収支予算及び向こう2年間の財政計画を記載した書類	—	
05-7	添付⑦教育課程変更前と変更後の新旧対照表	—	
05-8	添付⑧実習指導計画	—	15-16
05-9	添付⑨実習指導体制	—	17-18
06	各授業科目の内容を記載した書類	第2号(その3)	19
07	理事会等の議事録(理事会等に付していない場合は, 意志決定過程がわかる資料)	—	
08	学則	—	
09	校長及び教員の氏名, 経歴, 概要等を記載した書類	第3号	20
10	校長及び教員の履歴書	第4号	21
11	実習施設に関する書類, 総括表 実習施設の概要 承諾書	第5号(その1) 第5号(その2) 第5号(その3)	22-25
	文部科学大臣が指定する看護師学校等の関係法令		26

申請一覧

文部科学大臣が指定する看護師学校等(高等学校)の指定申請等の提出書類, 提出期限

2026. 3. 19版

※○印は各申請に必要な書類を示す

番号 (注1)	提出書類	様式	指定申請	変更承認申請				変更の届出		指定取消申請	備考
				課程 修業 年限	入学 定員 (増)	入学 定員 (減)	教育 課程	校舎の 各室の 用途及 び面積	実習施設		
01	指定申請書, 変更承認申請書, 変更届出書, 指定取消申請書	第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	
02	設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類	-	○								次の資料を添付すること ◆設置の趣旨等を記載した書類 (例) ①設置の趣旨及び必要性(当該都道府県の看護職需給関係・要望, 入学定員の確保の方策等), ②学科の特色, ③教育課程編成の考え方及び特色, ④教員組織の編成の考え方及び特色, ⑤卒業後の進路先, ⑥実習の具体的計画等
03	変更事項, 変更年月日, 変更する理由及び変更に伴い措置した事項, を記載した書類	-		○	○	○	○	○	○	○	◆校舎の各室の用途及び面積の変更の場合, 校舎移転による位置の変更の場合は, 変更の概要が分かる書類(図面等)を添付し, 変更部分をマーキングすること
04	指定の取消しを受けようとする理由, 予定時期, 在学中の生徒があるときはその措置	-								○	
05	学校の概要を記載した書類, 教育課程と指定規則との対比表	第2号(その1) 第2号(その2) ①2年課程用 ②5年一貫課程用 ③准看課程用	○	○	○	○	○				対比表の様式は, 該当する入学年度のものを使用し作成すること
05-1	添付①校舎等建物の配置図	-	○	○	○						
05-2	添付②校舎等建物平面図	-	○	○	○			○			各室の面積を記載し, 専用と共用別にマーキングをする
05-3	添付③(校舎が未整備の場合)工程表または工事計画	-	○								
05-4	添付④専門科目に係る主たる図書目録	-	○								
05-5	添付⑤専門科目に係る機械器具, 標本, 模型の名称及び数を記載した書類	-	○								
05-6	添付⑥収支予算及び向こう2年間の財政計画を記載した書類	-	○	○	○	○	×				公立高校は不要 ※2026年3月19日版より, 教育課程の変更は不要になりました。
05-7	添付⑦教育課程変更前と変更後の新旧対照表	-				○					【変更前】【変更後】を示し, 変更部分にマーキングをする
05-8	添付⑧実習指導計画	-	○	○	○		◆備考欄参照		○		◆臨地実習の科目に変更がある場合に提出 年次別実習計画(実習時期, 実習施設及び実習科目, 施設別生徒数及び引率教員数等) ※【変更前】【変更後】を示し, 変更部分にマーキングをする
05-9	添付⑨実習指導体制	-	○				◆備考欄参照		○		◆臨地実習の科目に変更がある場合に提出 ・変更後の実習目標, 実習内容, 評価方法及び評価表, 単位認定基準, 安全管理対策(災害・感染管理・事故・個人情報の取扱いなど) ※実習要項の該当部分の添付も可
06	各授業科目の内容を記載した書類	第2号(その3) ※任意形式も可	○(全科目)	○(全科目)			○(変更科目のみ)				様式は任意形式も可
07	理事会等の議事録(理事会等に付していない場合は, 意志決定過程がわかる資料)	-	○	○	○	○	○		○	○	公立高校は不要
08	学則	-	○	○	○	○	○		○	○	学則の変更の場合は, 新旧対照表を添付すること
09	校長及び教員の氏名, 経歴, 概要等を記載した書類	第3号	○	○	◆備考欄参照						◆入学定員増に伴い教員を増員する場合のみ提出すること
10	校長及び教員の履歴書	第4号	○	○	◆備考欄参照						次の資料を添付すること。 ①教員の免許状等の写し ◆入学定員増に伴い教員を増員する場合のみ提出すること
11	実習施設に関する書類 総括表(注2) 実習施設の概要 承諾書	第5号(その1) 第5号(その2) 第5号(その3)	○	◆備考欄参照	◆備考欄参照				○		◆実習施設を追加する場合は, 同時に実習施設の申請を行うこと
	提出期限			指定, 承認を受けようとする日から起算して6か月前			承認を受けようとする日から起算して3か月前	変更届出事由が生じてから1か月以内	承認を受けようとする日から起算して3か月前 ※募集停止を行う場合→報告の意思決定から1か月以内に文部科学省に報告すること(様式任意)		

『高校看護』の申請にあたっての注意事項

【提出方法】申請・届出事項ごとに提出書類をまとめ、電子メールで提出してください。

提出先：**初等中等教育局** 参事官（高等学校担当）付 産業教育振興室 助成係
メールアドレス✉ sangyo@mext.go.jp

*数多くのメールが届くため、教育委員会名のみや法人名のみではなく**メールの件名または本文にも必ず学校名を記載する**ようにお願いします。

***最初**の受け取り後、**受理メール**をお送りいたします。1週間過ぎても受理メールが届かない場合は必ず受理確認をお願いします。（※先に受理確認をいただいた場合や、修正中のやりとり等は受理メールを省略する場合がございます。）

様式は、必ず**高等学校における看護教育**よりダウンロードした様式を使用すること。
（※リンク先から下までスクロールしていただきますと『文部科学大臣が指定する看護師学校等（高等学校）指定申請様式・記載例について』がございます。）https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/shinkou/kango/index.htm

***古い様式や独自に作成した様式では受け付けておりません。**ただし、作成には時間を要すと存じますので、作成途中で様式に更新があったと見なされる程度の古さは可。

提出は**PDF方式**とする。申請一覧にある番号ごとに作成するか、または番号順に1つのPDFにまとめても構わない。**※Excel・Word等では受け付けません。**

作成した書類の様式等に漏れ・崩れがないか、不鮮明でなく読み取り可能かを確認し作成すること。また、**文字の縮小は概ねA3で読み取れる小ささまでとする。**

*無駄に余白が空いて白紙がないか。
*申請に不要な書類がついてないか。

※PDFに変換した書類を必ず確認してください
目視できない場合は再提出としています

「指定申請の場合」・「変更承認申請の場合」と、それぞれの様式があるものは申請事項に応じて使用すること。

※「指定申請の場合」の様式→ **新しく看護学科を設置し、指定校として申請する場合**に使用します。**すでに指定されている学校は「変更承認申請の場合」の様式を使用すること**

***提出期限厳守。**提出期限を過ぎた場合は速やかに助成係にメールにて相談してください。

☆ご質問・お問い合わせはメールでお願いします。

sangyo@mext.go.jp 産業教育振興室 助成係

💡 学校内で解決する疑問は学校内でお願いします。

「担当者が不在でわからない。」「新しく担当になったためわからない。」とならないように、日頃から情報共有をお願いします。
それでも解決しない場合はお問い合わせいただいても構いません。
回答にはお時間をいただいております。

☆学科名は登録の学科名を記載！！

学校内で通称で通っている学科名ではなく、正式な学科名をお願いします。

🔍 よくある間違い 🔍

（誤）看護科（5年一貫校） → （正）看護科

※正式には「（5年一貫校）」はつかない。

（誤）看護科・看護専攻科 → （正）看護学科

※学校内では呼び分けているが正式な名称は看護学科としている。

（誤）看護科 → （正）衛生看護科・衛生看護専攻科

※看護科は通称名で正式には「衛生看護科・衛生看護専攻科」と並列表記で登録している。

💡 学科名の変更は変更届出書の提出が必要です。

変更承認申請に係る申請の有無早見表

教育課程の変更

○: 変更承認申請書の提出が必要

△: 変更届出書の提出が必要

×: 申請不要 (※ただし、別途申請が必要となった際には変更点を記載すること。)

変更事項	必修科目	選択科目	自由科目
1. 科目の追加	○ ※1	○	×
2. 科目の削除	○ ※2	○	×
3. 科目の名称変更	△	△	×
4. 科目の内容変更	○	○	×
5. 科目単位数の増加	○	△	×
6. 科目単位数の減少	○	○	×
7. 配当年次、配当時期(前期・後期等)の変更又は1単位当たりの時間数の増減	×	×	×

※1 基礎分野を含む科目の選択科目から必修科目への変更は「1. 科目の追加」となり、変更承認申請を必要とする。

※2 基礎分野を含む科目の必修科目から選択科目への変更は「2. 科目の削除」となり、変更承認申請を必要とする。

実習施設の変更

○: 変更承認申請書の提出が必要

×: 申請不要 (※ただし、別途申請が必要となった際には変更点を記載すること。)

申請事項	申請有無	様式第5号の提出有無		
		その1	その2 (※1)	その3
1. 設置者の変更(他団体への移譲を含む) ※団体、法人、公営から民営の変更など。	○	○	○	○
2. 実習施設の代表者変更	×	-	-	-
3. 設置者及び実習施設名称変更	×	-	-	-
4. 実習施設の合併	○	○	○	○
5. 実習施設の所在地移転	(※2)	(※2)	(※2)	×
6. 実習施設の分割・増設 例: A施設→(B施設、C施設) or (A施設+B施設)	○	○	○	○
7. 既に使用している実習施設と同じ設置者の別施設 (※別所在地・同所在地を問わず)	○	○	○	○
8. 町村合併による所在地(住所)変更	×	-	-	-
9. 既に実習施設として使用しているが、新たに他の実習や学年が使用する場合	×(※3) ×(※4)	-	-	-
10. 実習施設として使用しなくなった場合(※5)	×	-	-	-

※1 様式第5号(その2)の交通機関は、生徒が自宅から行く場合も書類の目安として学校からの距離を記載すること。高校の看護においては自家用車可としておりますので別紙等は不要。

※2 実習施設の場所移転については、実習施設が遠方の場合は申請が必要。
(所要時間概ね2時間以上)

※3 学校種別が異なる場合には、種別毎に施設の申請が必要。
例: 学校内に5年一貫校と、准看護師学校があり、それぞれ指定を受けている学校など。

※4 別途申請が必要となった際に変更点を記載するとともに、指定学校概況調査の際にも、必ず記載をすること。

※5 使用をしなくなった場合のみの申請は不要。ただし、その他に変更承認申請が必要となった際に様式第5号(その1)総括表備考欄に「削除」と記入し、変更後の欄を空欄とすること。

※6 1単位未満の申請不要とは、科目が1単位未満の場合であり、1日のみの実習の場合も申請が必要。ただし、見学・講演・説明等の校外学習は除く。あくまでも臨地実習の場合申請を必要とする。

指定申請・記載例

様式第1号

(指定申請の場合)

看護師学校の指定申請の場合
※申請事項に応じて様式を使用すること

文書番号は任意記載

〇〇〇〇第〇〇号
年 月 日

(注) 学校名は記載しない
看護師学校または准看護師学校
と、学校種別のみ記載する

看護師学校指定申請書

文 部 科 学 大 臣 殿

設置者を記載する
公立：教育長
私立：理事長

申請者の職名及び氏名

このたび、●●県立虎ノ門高等学校看護科・看護専攻科を、保健師助産師看護師法第21条第1号に規定する学校として指定していただきたく、保健師助産師看護師法施行令第12条の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

(注)

- 1 (学校種別)には、「看護師学校」または「准看護師学校」と記入すること(学校名は不要)
- 2 (学校名)及び(学科等名)には、当該申請に係る学校名及び学科の名称を記入すること。
- 3 提出の際は(注)以下を削除すること。

変更承認申請・記載例

様式第1号

(変更承認申請の場合)

看護師学校の変更承認申請の場合
※申請事項に応じて様式を使用すること

文書番号は任意記載

〇〇〇〇第〇〇号
年 月 日

(注) 学校名は記載しない
看護師学校または准看護師学校
と、学校種別のみ記載する

看護師学校変更承認申請書

設置者を記載する
公立：教育長
私立：理事長

文部科学大臣 殿

申請内容により「学則（教育課程）」
「入学定員」「実習施設」等を記入

申請者の職名及び氏名

このたび、●●県立虎ノ門高等学校看護科・看護専攻科の学則（教育課程）の変更について、保健師助産師看護師法施行令第13条第1項の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

(注)

- 1 (学校種別)は、「看護師学校」または「准看護師学校」と記入すること(学校名は不要)
- 2 (学校名)及び(学科等名)には、当該申請に係る学校名及び学科の名称を正しく記入すること。
- 3 (変更承認申請事項)には、「入学定員」「学則(教育課程)」「実習施設」等を記入し、複数にわたる場合はそれぞれを列記すること。
- 4 変更承認申請事項のほか届出事項がある場合は、「変更承認申請書及び変更届出書」として、届出事項を含めても差し支えない。
- 5 提出の際は(注)以下を削除すること。

■よくある間違い■

学科名は指定を受けている学科名を正しく記載してください。

特に、5年一貫校の実習施設の変更においては、変更対象が「専攻科」のみであるため、専攻科名しか記載しない学校が見受けられますが、「看護科・看護専攻科」等、指定学科名を正しく記載してください。あくまでも5年一貫校であり、分けて申請をする事はありません。

変更届出書・記載例

様式第1号

(届出の場合)

看護師学校の変更届出書の場合
※申請事項に応じて様式を使用すること

文書番号は任意記載

〇〇〇〇第〇〇号

年 月 日

(注) 学校名は記載しない
看護師学校または准看護師学校
と、学校種別のみ記載する

看護師学校変更届出書

設置者を記載する
公立：教育長
私立：理事長

文 部 科 学 大 臣 殿

届出内容により「学則（授業料）」
「設置者名称」「学校名称」等を記入

設置者の職名及び氏名

このたび、●●県立虎ノ門高等学校看護科・看護専攻科の**学科名称**の変更について、保健師
助産師看護師法施行令第13条第2項の規定に基づき、関係書類を添えて届出ます。

(注)

- 1 (学校種別)は、「看護師学校」または「准看護師学校」と記入すること。(学校名は不要)
- 2 (学校名)及び(変更届出事項)には、当該申請に係る学校名及び学科の名称を正しく記入すること。
- 3 (変更届出事項)には、「設置者」「〇〇名称」「学則(※実情に合わせた変更事項を記載)」等を記入すること。
- 4 提出の際は(注)以下を削除すること。

■よくある間違い■

設置者の変更とは、団体、法人、または公営から民営への変更などが対象であり、同団体・法人内での理事長や校長の交代の場合は提出不要です。

また、設置者は同一でも、名称の変更は届出書が必要です。

例：(旧)学校法人文科学園 → (新)学校法人もんか学園

学則の随所を整え、「学則(※変更届出事項)」の表記が困難な場合、様式第1号においては「学則の変更」とし、確固表記を省略しても問題ございません。

学則（教育課程）の変更・記載例

●●県立虎ノ門高等学校 ○○科の学則(教育課程)を変更する理由について

1 変更事項

学則（教育課程）の変更

2 変更年月日

○○年○月○日

3 変更する理由

本校の教育目標である「
」のもと、教育課程を編成し実施してきた。しかし現
行では、「
」のような課題が明らかとなったため、さらに「
」としていくために、○○年度入学生より学則（教育課程）を変更しようとするものである。

4 変更に伴い措置した事項

今回の変更点は以下の通りである。

1) 下記の通り科目を新設する。

○○科○年生に科目「□□□(○単位、■時間)」を新設。

2) 下記の通り変更する。

・変更前 ○○科○年生に科目「□□□(○単位、■時間)」

・変更後 ○○科○年生に科目「□□□(●単位、□時間)」

5 事務担当者

●●県立虎ノ門高等学校 □□ ●● ●●

電 話 ○○-○○○○-○○○○ (直通)

E-Mail ○○○○○@○○○○○

変更事項に応じ工夫し記載する
添付資料・新旧対比表など
と整合性を持たせ記載

新旧対比表方式で記載しても可とするが、○年生の何がどう変更になったか、ここ見れば今回の申請がどういうものかわかる表記をお願いします。

後日、問い合わせる場合がありますので、本件を作成した事務担当者の連絡先を記入すること

実習施設の変更・記載例

●●県立虎ノ門高等学校 ○○科の実習施設を変更する理由について

1 変更事項

実習施設の変更

【実習施設の追加申請】使用開始3か月前までに申請すること
【既存の実習施設に変更事項があり、申請が必要な場合】
実習施設の合併、実習施設の遠方への移転、実習施設の分割・増設

2 変更年月日

○○年○○月○○日

記載する日付は一つのみです！！

今回の申請で変更が発生する日を記載すること
※複数の施設を同時に申請する場合は、使用開始日が一番早い日より前迄とする（同日可）
実際より早い日とする事は問題ないが、提出期限の3か月前も早まるため、提出期限に注意すること

3 変更する理由

これまで目指してきた○○に関する●●●の内容の充実のため、実習施設を追加しようとするものである。

変更事項・理由に応じて工夫し記載すること

4 変更に伴い措置した事項

・実習施設の追加

①実習施設名 ②科目名 ③使用開始時期(年月日)・使用学年

**追加施設については、
①～③について必ず記載
すること**

・申請済実習施設の変更事項 ※申請済み施設については自由記載。変更事項がわかるように。

①実習施設名 ②変更事項(名称変更、科目の追加、施設の代表変更など)

③任意自由記載(令和○年4月1日より、たくみ病院から匠病院に名称変更など追記があればよりよい)

5 事務担当者

●●県立虎ノ門高等学校 (職名・氏名)

電話 ○○-○○○○-○○○○ (直通)

E-Mail ○○○○○@○○○○○

※申請済の実習施設に変更事項が生じ同時に報告する場合も記載し報告が必要

後日、問い合わせる場合がありますので、本件を作成した担当者の連絡先を記入すること

05 学校の概要を記載した書類、教育課程と指定規則との対比表

様式第2号(その1)

学校の概要を記載した書類

事項	記入欄						備考
設置者の氏名及び住所	●●県, 学校法人○○○ など (●●県中央区○○1丁目1番1号)						
学校の名称	虎ノ門高等学校						
学校の位置	東京都千代田区霞が関3丁目2番2号						
設置年月日 ()内は指定日 ※新設は見込み	昭和30年4月1日(平成14年4月1日指定)						
校長の氏名	□□ □□						
教務に関する主任者の氏名	○○ ○○						
申請学科の概要	学科の名称	修業年限	入学定員	収容定員	在学者数	承認を受けようとする時期	所在地
	看護科・看護専攻科	5年	40人	200人	202人	●●年●月●日	●●県千代田区霞が関3丁目2番2号
教員組織の概要		教諭	助教諭	講師	計	実習助手	
	専任	35人 (32人)	4人 ()	10人 ()	49人 (46人)	2人 ()	
	兼任	()	()	20人 ()	20人 ()	()	
	計	()	()	30人 ()	69人 (66人)	2人 ()	
教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任		計		
	事務職員	2人 ()	()		2人 ()		
		()	()		()		
	計	2人 ()	()		2人 ()		
看護師の資格を有する専任教員	学科の名称	教諭	助教諭	講師	計		
	衛生看護科専攻科	7人 ()	4人 ()	1人 ()	12人 ()		
校舎	専用	共用		共用する他の学校等の専用	計		
	※教育課程申請の場合は、空欄または削除可能					m ² ()	

設置年月日は、高等学校の設置年月日を記入 ()内は指定日 ※新設は見込み

新設・入学定員の増減により完成年度と相違がある場合は、完成年度を上段に、記載年度を ()内記入 ※指定申請は指定年度の4月1日時点 ()内記入

申請に係る学科の専用施設、学校の共用施設などの面積を記入 区別が難しい場合は備考欄を活用し記入 ※整備途中の場合は、上段に完成年度、下段に申請時の面積を記入

教室等	専用の普通教室	専用の実習室	情報処理学習施設						
	6室 ()	3室 ()	2室 ()						
図書室	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	冊					
	※教育課程申請の場合は、空欄または削除可能								
図書・設備	基礎分野に関する図書	専門基礎分野に関する図書	専門分野に関する図書	その他の図書					
	●●●●冊 ()	●●●●冊 ()	●●●●冊 ()	●●●●冊 ()					
	合計	●●●●冊 ()	●●種類 ()						
	機械器具	標本・模型	視聴覚資料						
	△△△点 ()	△△△点 ()	△△△点 ()						
併設学科の概要	学科の名称	修業年限	入学定員	収容定員	在学者数	開設した時期	所在地		
	○○科 ●●科	3年 3年	80人 120人	240人	人				
臨地実習施設の概要	授業科目名		実習施設数		実習施設における実習指導者数				
	1年看護臨地実習（基礎看護学）		2	施設	6	人			
	2年看護臨地実習（基礎看護学，地域・在宅看護論）		6	施設	30	人			
	母性看護実習		3	施設	9	人			
				施設		人			
	計		51	施設		人			
授業科目の概要	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置			備考
			必修	選択	自由	教諭	助教諭	講師	実習助手
	現代の国語	高1	4			1			
	基礎看護	高1	4			1	2		1
	成人看護	高2	2			1			
	基礎看護	高2	4			2		2	★
	基礎看護	高3	1			★	1		
同じ科目であっても配当年次ごとに記入		科目を重複して担当している場合、いずれかは★を記入							
成人臨床看護Ⅰ	専1	2			1				
看護方法論Ⅰ	専1	2			★	1			
地域包括看護論	専2	1					1		
科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号（その2）、様式第2号（その3）と整合性を持たせ記入すること									

複数の学科で共有するなど当該学科ごとに記入できない場合は、総数を記入し、備考欄にその旨を記入

新設などで整備途中の場合は、上段に完成年度、下段に指定時点を記入

高校課程の「看護臨地実習」は、教育内容（●●看護学など）も列記すること

総計ではなく、実数を記入
※様式第5号（その1）総括表の施設数と一致すること

全ての授業科目について記入

備考欄に卒業（修了）要件を記入

図書は併設学科○○科と共有している。

（専攻科課程）単位あたりの時間数は様式第2号（その2●）に基づく。終了認定に必要な単位数は、○単位（専門科目●単位）以上。

様式第2号(その2①) 2年課程

(指定規則第4条第2項に規定する学校の場合＝2年課程)

教育課程と指定規則との対比表

学校名	虎ノ門 高等学校	学科名	看護専攻科
		適用年度	●●年度

指定規則(別表3-2)		教育課程の内容					
教育内容	単位数	科目	1年		2年		単位数合計
			単位	(時間)	単位	(時間)	
基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	8	論理学	2	60			2
		心理学	2	60			2
		英語表現	1	30	1	30	2
		情報デザイン	1	30			1
		統計学	1	30			1
基礎分野合計		8	基礎分野合計				8
専門基礎分野 人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	10	科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号(その1)、様式第2号(その3)と整合性を持たせ記入すること					
		健康支援と社会保障制度	4				
専門基礎分野合計		14	専門基礎分野合計				
専門分野 基礎看護学	6	基礎看護学総論	1	30			
		基礎看護学方法	1	30			
	地域・在宅看護論	5					
成人看護学	3						
老年看護学	3						
小児看護学	3						
母性看護学	3						
精神看護学	3						
看護の統合と実践	4						
臨地実習	2	基礎看護学					
		地域・在宅看護論					
		成人看護学 老年看護学					
		小児看護学					
		母性看護学					

別表に示す合計単位数を満たしているかを確認する

科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号(その1)、様式第2号(その3)と整合性を持たせ記入すること

※注意
学校により異なるため、自動計算はつけていません。
各々で計算および記入をお願いします。

様式第2号(その2②) 5年一貫課程
 (指定規則第4条第3項に規定する学校の場合=5年一貫課程)
 教育課程と指定規則との対比表

学校名 虎ノ門 高等学校 学科名 看護 科 適用年度 ●● 年度

指定規則(別表3-3)				教育課程の内容																																	
教育内容	単位数			高等学校			単位合計	専攻科		1年		2年		単位合計	内容ごとの総単位数																						
	高等学校	専攻科	合計	教科	科目	単位		単位	単位	科目	単位	(時間)	単位			(時間)																					
基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	6	10	16	国語	現代の国語	2			2	論理学	2	30			2	2																					
					国語文化			2		2	心理学	2	60				2																				
					論理国語	2	1	1		4	英語表現	1	30	1	30		2																				
					情報デザイン	1	30				1																				
					統計学	1	30				1																				
					保健体育	体育	3	2	2	7	医療倫理	1	30				1																				
					保健体育	保健	2年「人体の構造と機能」で代替																														
					芸術	音楽I				2																											
					芸術	美術I				2																											
										看護	看護情報(「情報I」の代替)	2			1			3																			
基礎分野合計				6				10				16				基礎分野合計				15		15		15		45		基礎分野合計				8		1		9	
専門基礎分野 人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	7	9	16	看護	人体の構造と機能	3	2	1		解剖生理学	2	60				8																					
				看護	疾病の成り立ちと回復の促進			2			生化学	2	60																								
											臨床薬理学	3	90																								
専門基礎分野合計				8				14				22				専門基礎分野合計				10		10		10		16		26									
基礎看護学	8	4	12	看護	基礎看護	4	2	2		基礎看護学総論	1	30				8																					
										基礎看護学方法	1	30	1	30	4																						
											基礎看護学実践			1	30																						
地域・在宅看護論	1	5	6	看護	在宅看護			1		地域・在宅看護概論	1	30			1																						
										在宅看護技術	2	60																									
成人看護学	2	4	6							在宅看護方法			2	90																							
老年看護学	1	3	4																																		
科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号(その1)、様式第2号(その3)と整合性を持たせ記入すること																																					
専門分野 看護の統合と実践	4	4	4																																		
				専門分野小計				14				30				44				専門分野小計				14		30		44									
				基礎看護学	(3)		(3)	看護	看護臨地実習	1	2	4	7	基礎看護学実習	2	90			2	9																	
				地域・在宅看護論	(2)		(2)	看護	看護臨地実習		1		1	地域・在宅看護論実習	1	30	1	30	2	3																	
				成人看護学	(2)	(2)	(4)	看護	看護臨地実習		2	2	4	成人看護学実習	2	90	2	90	6																		
				老年看護学				看護	看護臨地実習				2	90	2	90	6																				
				小児看護学	(2)		(2)																														
				母性看護学	(2)		(2)																														
				精神看護学	(2)		(2)																														
				看護の統合と実践	(2)		(2)																														
臨地実習小計				10				16				26				臨地実習小計				10		16		26													
専門分野合計				24				46				70				専門分野合計				24		46		70													
総合的な探究の時間								1				2,3年「看護臨地実習」で代替				1				その他																	
その他																																					
合計				38				70				108				合計				38		70		108													

高等学校学習指導要領に基づく教科・科目を記入
 ※代替した教科の記載例:
 「保健」を「健康支援と社会保障制度」に代替した場合

※「看護情報」は基礎分野に記入

※注意
 学校により異なるため、自動計算はつけていません。
 各々で計算および記入をお願いします。

高校単位数の合計

専攻科単位数の合計

別表に示す単位数を満たしているかを確認

科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号(その1)、様式第2号(その3)と整合性を持たせ記入すること

科目「看護臨地実習」に代替する場合

様式第2号 (その2③) 准看護師課程

(指定規則第5条に規定する学校の場合＝准看護師課程)

教育課程と指定規則との対比表

学校名	虎の坂 高等学校	学科名	衛生看護科
		適用年度	●●年度

指定規則 (別表4)			教育課程の内容						
区分・教育内容	時間数	単位数	教科	科目	1年	2年	3年	計 (単位数)	
									論理的思考の基礎
人間と生活・社会	35	1	地理歴史	地理総合	2			2	
高等学校学習指導要領に基づく教科・科目を記入 ※代替した教科の記載例： 「保健」を「疾病の成り立ちと回復の促進」に代替した場合			保健体育	保健	2年「疾病の成り立ちと回復の促進」で代替				
			看護	看護情報(情報Ⅰの代替)		3		3	
※「看護情報」は基礎分野に記入									
科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号(その1)、様式第2号(その3)と整合性を持たせ記入すること					別表に示す合計単位数を満たしているかを確認する				
基礎分野合計			70	2	基礎分野合計			7	
専門基礎分野	人体の仕組みと働き	105	3	看護	人体の構造と機能	3		3	
	栄養	35	1	看護	人体の構造と機能		1	1	
	薬理	70	2	看護	疾病の成り立ちと回復の促進		1	1	
	疾病の成り立ち	105	3	看護	疾病の成り立ちと回復の促進		2	2	
	保健医療福祉の仕組み	35	1	看護	健康支援と社会保障制度				
	看護と法律							1	
	専門基礎分野合計			350	10	専門基礎分野合計			3
基礎看護	看護概論	70	2	看護	基礎看護				
	基礎看護技術	245	7	看護	基礎看護				
	臨床看護概論	70	2	看護	基礎看護				
	基礎看護小計			385	11	基礎看護小計			
専門分野	成人看護	210	6	看護	成人看護	1	2	1	4
	老年看護			看護	老年看護		1	1	2
				看護	在宅看護				0
	母子看護	70	2	看護	母性看護		1	1	2
				看護	小児看護		1	1	2
	精神看護	70	2	看護	精神看護		1	1	2
臨地実習	基礎看護	210	6	看護	看護臨地実習		3		6
	成人看護	385	11	看護	看護臨地実習		3	6	9
	老年看護								
	母子看護	70	2	看護	看護臨地実習			2	2
	精神看護	70	2	看護	看護臨地実習			2	2
臨地実習小計			735	21	臨地実習小計			3	
専門分野合計			1,470	42	専門分野合計			4	
総合的な探究の時間					1	2,3年「看護臨地実習」で代替			
ホームルーム活動									
その他									
合計			1,890	54	合計			35	
						35	35	105	

注) 「教育課程の内容」の欄には、学則に定める授業科目を指定規則の教育内容と対応させて記入すること。

変更承認申請の場合

今回新たに追加した施設を使用開始となる全ての学年の年間指導計画を【変更前】【変更後】ともに添付する。

【変更後】には、変更箇所が明確となるようマーキングや朱書きをする。

【変更後】はあくまでも変更後のため、【変更前】（前回申請時点）と大幅に変わっていても問題はない。

〇〇科〇年臨地実習計画(令和▲年度実施)【変更前】

グループ	月 週	5				6				7			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3
1G ○名		「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ●病棟 引率:●●教諭				「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆●教諭				「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭		「母性看護学実習」 ●●医療センター ●病棟 引率:●□教諭	
2G ○名		「老年看護学実習」 ◆◆病院 東2病棟 引率:◆○助教諭				「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ●病棟 引率:●●教諭				「地域・在宅看護論 実習Ⅰ」 ▲訪問看護ステーション 引率:▲▲教諭		「精神看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆◇教諭	
3G ○名		「成人看護学実習Ⅲ」 ○○総合病院 内科病棟 引率:○○教諭				「老年看護学実習」 ◆◆病院 東2病棟 引率:◆○助教諭				「母性看護学実習」 ●●医療センター ●病棟 引率:●□教諭		「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭	
4G ○名		「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ○病棟 引率:●○助教諭				「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭		「母性看護学実習」 ●●医療センター ●病棟 引率:●□教諭		「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆●教諭			
5G ○名		「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆●教諭				「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ○病棟 引率:●○助教諭				「精神看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆◇教諭		「地域・在宅看護論 実習Ⅰ」 ▲訪問看護ステーション 引率:▲▲教諭	



〇〇科〇年臨地実習計画(令和▲年度実施)【変更後】

グループ	月 週	5				6				7			
		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3
1G ○名		「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ●病棟 引率:●●教諭				「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆●教諭				「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭		「母性看護学実習」 ●●医療センター ●病棟 引率:●□教諭	
2G ○名		「老年看護学実習」 ◆◆病院 東2病棟 引率:◆○助教諭				「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ●病棟 引率:●●教諭				「地域・在宅看護論 実習Ⅰ」 ▲訪問看護ステーション 引率:▲▲教諭		「精神看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆◇教諭	
3G ○名		「成人看護学実習Ⅲ」 ▲▲総合病院 A1病棟 引率:○○教諭				「老年看護学実習」 ◆◆病院 東2病棟 引率:◆○助教諭				「母性看護学実習」 ●●医療センター ●病棟 引率:●□教諭		「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭	
4G ○名		「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ○病棟 引率:●○助教諭				「小児看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆▲教諭		「母性看護学実習」 ●●医療センター ●病棟 引率:●□教諭		「老年看護学実習」 ▲▲総合病院 A3病棟 引率:○○教諭			
5G ○名		「老年看護学実習」 ◆◆病院 西3病棟 引率:◆●教諭				「成人看護学実習Ⅲ」 ●●医療センター ○病棟 引率:●○助教諭				「精神看護学実習」 ◆◆病院 引率:◆◇教諭		「地域・在宅看護論 実習Ⅰ」 ▲訪問看護ステーション 引率:▲▲教諭	

変更箇所を
マーカー等

05-9 添付⑨実習指導体制

2 実習目標・内容・評価方法

お願い：実習要項の添付も可能ですが、生徒に配布する書類等のすべてを提出する必要はありません。申請に不要なもの(例：記録用紙等)は省いて提出してください。

【必要なもの】(今回の申請学年科目のみの)実習目標、実習内容、評価方法及び評価表、単位認定基準

実習科目名	学年・単位 数・時間数	実習内容
成人看護学実習Ⅰ	高3 4単位	<p>1. 実習目標 ●●●●●●●● ●●●●●●●●</p> <p>2. 週間計画(実習内容、臨地・学内区別等) ◆1週目(臨地4日、学内1日) 【1～4日目：臨地】 ・受け持ち患者について情報分析、必要な援助計画を立案した援助について看護師とともに実施。 【5日目：学内】 ・実施した援助計画について、…… ◆2週目……</p> <p>3. 評価 別紙評価表に基づき実施する。</p> <p>4. 単位認定基準 総点●点以上、出席時間数●●以上……</p>
地域・在宅看護論実習Ⅰ (保健センター)	専1 1単位 (45時間)	<p>1. 実習目標 ●●●●●●●● ●●●●●●●●</p> <p>2. 週間計画(実習内容、臨地・学内区別等)</p>

変更後の実習指導計画に基づき、科目ごとに具体的に記載してください



05-9 添付⑨実習指導体制

お願い：生徒に配布する書類等のすべてを提出する必要はありません。
不要なもの(例:実習記録等)は省いて提出してください。

【必要なもの】実習連携、
安全管理対策(災害、感染対策、医療事故、個人情報の取扱い)
※特にSNSへの対応を含む情報漏洩について追記があるか

実習指導体制について

<p>1. 実習指導のための 教員間での連携体制</p>	<p>・個別の実習の場合を列記するのではなく、学校があらかじめ指針として挙げている方法を記載する。</p> <div data-bbox="917 745 1326 860" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 200px;"> <p>臨地実習調整者の役割等、明記することが望ましい</p> </div>
<p>2. 臨地実習指導者と 教員との連携体制</p>	<p>・個別の実習施設との連携体制を列記するのではなく、学校があらかじめ指針として挙げている方法を記載する。</p>
<p>3. 実習中の安全管理体制</p>	<p>ア 感染対策、イ 医療事故防止対策・事故時の対応、ウ 災害時の対応、エ 倫理的配慮、オ 個人情報の取扱い及び情報漏洩予防(SNS対策含む)、などを具体的に記載</p> <p>※実習施設について、遠方(学校から概ね2時間以上)を使用している場合は、生徒への配慮、指導体制について記載</p> <div data-bbox="491 1570 1273 1845" style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>※具体的に実習要項に記載されている該当ページの添付も可 としますが、変更後使用する予定の最新のものとしてください。 ※フローチャート、チェックリスト、承諾書など、実際に使 用されているものがあれば参考のため添付をお願いします。</p> </div>

06 各授業科目の内容を記載した書類

様式第2号（その3）

各授業科目の内容を記載した書類

授業科目名	地域・在宅看護論 I	履修学年	専攻科1年	単位数 (時間)	1 (15/30)
-------	-----------------------	------	--------------	-------------	----------------------

目 標	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> 科目名・履修学年・単位数・時間数は、様式第2号（その1）、 </div>
-----	---

履修学年ごとに作成

科目の時間数を分割して、様式をそれぞれ作成する場合

学 習 内 容	学習内容ごとの目標	指導上の留意点 等

(注)

1 この書類は、教育内容がわかる資料（シラバス等）に代えても差し支えない。

09 校長及び教員の氏名、経歴、概要等を記載した書類

様式第3号

校長及び教員の氏名、経歴の概要を記載した書類

(●●科)

履歴書の番号	専任・兼任の別	職名	フリガナ 氏名(性別) 生年月日(年齢) (就任予定年月日)	担当授業 科目名	毎週担当 授業時間数			免許取得等 卒業大学(学校) 学部学科名称及び 卒業年月 (取得免許)	教歴 (臨床歴)	現職 (就任年月)
					校内 授業	臨地 実習	計			
1	専任	校長	□□ □□ ●● ●● (○) ●●年●月●日 (△才)				●●大学大学院□□科卒業 (○年○月○日) 高等学校教諭(数学)専修	35年	●○年○月	
2	専任	教諭	□□ □□ △△ △ (△) ●●年●月●日 (△才)	基礎看護 看護臨地実習 (小児看護)	10	4	14	●●大学□□科卒業 (○年○月○日) 看護師免許(第●●号) 保健師免許(第□□号) 高等学校教諭(看護)一種	25年 (看護師5年)	
3	専任	教諭	モンカ ハナミ 文科 華美(女) ●●年●月●日 (□才) (◆◆年◆月◆日)					●●大学□□科卒業 (○年○月○日) 看護師免許(第●●号) 高等学校教諭(看護)一種	(看護師8年)	
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>申請と同時に就任の場合は就任予定日を記載</p> </div>										
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>記載した免許状は必ず添付。また、添付できない免許は記載できない</p> </div>										
25	兼任	講師	●● ●● (○) ●●年●月●日 (□才) (◆◆年◆月◆日)	薬理学	4 単位		4 単位	●●大学大学院□□専攻 科卒業	(看護師8年)	
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>週担当時間の算出が難しい場合は「4単位」のように単位数で明記してもよい</p> </div>										

10 校長及び教員の履歴書

様式第4号

校長及び教員の履歴書

履 歴 書						
フリガナ 氏 名	モンカ ハナミ 文科 華美		男 (女)			
生年月日(年齢)	●●年●月●日 (△才)		現住所	東京都○○○・・・		
学 歴						
年 月	事 項					
◆◆年◆月 ◆◆年○月 □□年□月	●●大学□□科卒業 看護師免許(第△△△△号)取得 ・・・・・・・・・・・・・・・・					
注: 看護師等医療従事者免許取得に係る学歴及び取得した免許(登録番号)についてはすべて記入する						
職 歴						
年 月	事 項					
◆◆年◆月 年 月	●●県立中央病院看護師(外科病棟) (○○年○月まで) ・・・・・・・・・・・・・・・・					
注: 職歴は、様式3号の記載内容と一致させる						
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等						
年 月	事 項					
◆◆年◆月 ◆◆年◆月 年 月	日本○○学会会員(現在に至る) ●●県立教育課程研究会委員(現在に至る)					
賞 罰						
年 月	事 項					
年 月 年 月 年 月	現在の職務の状況、または、就任後に予定されている職務の状況について記入 週担当時間数の算出が難しい場合は単位数で明記してもよい					
職 務 の 状 況						
勤 務 先	職 名	学 科 (所属部局の名称)	担 当 授 業 科 目 名	毎 週 担 当 授 業 時 間 数		
				専 任	兼 任	計
○○高等学校	教諭	看護科	基礎看護	5単位		
			臨地実習 成人看護学実習	10単位		
本人が内容確認をした年月日						
●●年●月●日				確認者名		
上記のとおり相違ありません。						
氏名 文科 華美						

指定申請・記載例

様式第5号（その1）
（指定申請の場合）

差し替え時にどれが最新版が分かるように、実際の作成日をお願いします

作成日：●●年●月●日

実習施設に関する書類
総括表

No	実習施設名	当該実習施設を使用する科目名	実習施設における実習指導者 (所属・資格名) (臨床経験年数)	備考
1	〇〇総合病院	基礎看護学実習 成人看護学実習 小児看護学実習	〇〇〇〇 (内科病棟, 看護師 30年) 〇〇〇〇 (内科病棟, 看護師 8年) 〇〇〇〇 (泌尿器外科病棟, 看護師 15年) 〇〇〇〇 (小児科病棟, 看護師 22年)	
2	△△クリニック	小児看護学実習	△△△△ (小児科, 看護師 10年) △△△△ (小児科, 看護師 15年)	
3	□□市立病院	成人看護学実習	〇〇〇〇 (整形外科病棟, 看護師 25年) 〇〇〇〇 (整形外科病棟, 看護師 15年)	
4	老人保健福祉施設■	地域・在宅看護論実習	■ ■ ■ ■ (看護師 15年) ■ ■ ■ ■ (介護福祉士 10年)	別紙添付
<p>実習施設における実習指導者が、看護師に係る免許を有していない場合備考欄に「別紙添付」と記載し、ア、学校の実習体制、イ、指導者が実習目的に照らして適切であることを証明する書類（様式任意）を添付 ※実習指導者は各施設2名以上の記載をお願いします</p>				
<p>※准看護師は国家資格ではないため、別紙添付の対象となります</p>				

(注)

- 1 使用する全ての実習施設についてまとめて記入すること。
- 2 「実習施設における実習指導者」の欄には、当該実習施設の実習指導者をすべて記入し、本務の所属先、当該指定学校に係る資格名（免許の種類）及び臨床経験（業務従事）年数を記入すること。
- 3 使用する実習施設の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 4 実習施設における実習指導者が、看護師等の資格に係る免許を有していない場合は、ア、学校の実習体制、イ、指導者が実習目的に照らして適切であることを説明する書類を添付すること。（様式任意）
- 5 作成日は、実際に作成した日を記入すること。（差し替え時に最新版がわかるようにすること）
- 6 提出の際は（注）以下を削除すること。

変更承認申請・記載例

様式第5号(その1)
(変更承認申請の場合)

差し替え時にどれが最新版が分かるように、実際の作成日をお願いします

作成日：〇〇年〇月〇日

実習施設に関する書類
総括表

今回申請事項を備考欄に記載する

変更がない場合は、現行・変更後ともに同記載
※前回、変更申請済の内容はそのままにせず現

実習施設を削除する場合はNoを付けない
※休止の場合は削除しない
削除すると使用再開時に再申請が必要

申請中(承認前)の施設がある場合も記載し、備考欄にその旨を記載

今回削除した施設を含む変更前の合計施設数

No	現行		変更後		備考	
	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名		
1	〇〇総合病院	基礎看護学実習 成人看護学実習 地域・在宅看護論実習	〇〇総合病院	基礎看護学実習 成人看護学実習 地域・在宅看護論実習	【科目追加】 追加する科目を記載し、備考欄に「※科目追加」と記入 ※(その2)(その3)は提出不要	
2	△△クリニック	小児看護学実習	△△クリニック	小児看護学実習		
3	□□医療センター	基礎看護学実習 成人看護学実習 地域・在宅看護論実習	□□医療センター	基礎看護学実習 成人看護学実習 地域・在宅看護論実習 ※小児看護学実習	※科目追加	
4	〇〇町訪問看護ステーション	地域・在宅看護論実習	訪問看護ステーション ▲▲	地域・在宅看護論実習	※〇〇年▲月施設名称変更	
5	△△整形外科	成人看護学実習	【施設名称変更】 変更後の欄に新名称を記入し、備考欄にその旨記載 ※(その2)(その3)は提出不要	成人看護学実習		
23	〇〇病院	小児看護学実習			削除	
24	●●幼稚園	小児看護学実習	●●幼稚園	小児看護学実習	〇〇年●月●日追加申請中	
25			□□市立病院	成人看護学実習	新規	
26			〇〇県立▲▲特別支援学校	基礎看護学実習	新規	
合計実習施設数 (25) 施設			合計実習施設数 (26) 施設			変更後の合計施設
変更後に新規に使用する実習施設名		当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設における実習指導者 氏名(所属・資格名)(臨床経験年数)		備考	
□□市立病院		成人看護学実習	〇〇〇〇(内科病棟、看護師 30年) 〇〇〇〇(内科病棟、看護師 8年) 〇〇〇〇(泌尿器外科病棟、看護師 15年) 〇〇〇〇(小児科病棟、看護師 22年)			
〇〇県立特別支援学校▲▲		基礎看護学実習	●●●●(養護教諭 15年) ●●●●(教諭 10年)		別紙添付	
実習施設における実習指導者が、看護師に係る免許を有していない場合備考欄に「別紙添付」と記載し、ア、学校の実習体制、イ、指導者が実習目的に照らして適切であることを証明する書類(様式任意)を添付 ※実習指導者は各施設2名以上の記載をお願いします						

(注)

※准看護師は、国家資格ではないため別紙添付の対象となります

- 「現行」及び「変更後」の欄には、当該学校種別に係る使用する全ての実習施設についてまとめて記入すること。
- 1実習施設について、2以上の授業で使用する場合、「当該実習施設を使用する授業科目名」の欄にすべての授業科目名を一括して記入すること。
- 「変更後に新規に使用する実習施設名」の欄は、今回の申請で新規に使用する実習施設がある場合のみ記入すること。
- 「実習施設における実習指導者」の欄には、当該実習施設の実習指導者をすべて記入し、本務の所属先、当該指定学校に係る資格名(免許の種類)及び臨床経験(業務従事)年数を記入すること。
- 使用する実習施設の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 実習施設における実習指導者が、看護師等の資格に係る免許を有していない場合は、ア、学校の実習体制、イ、指導者が実習目的に照らして適切であることを説明する書類を添付すること。(様式任意)
- 作成日は、実際に作成した日を記入すること。(差し替え時に最新版がわかるように)
- 提出の際は(注)以下を削除すること。

※文部科学省高等教育局医学教育課「文部科学大臣が指定する看護師学校等の指定申請等提出書類の作成手引」に記載されている事例を参照し作成すること

様式第5号（その2）

実習施設の概要

名称	社会医療法人●●●医療センター			職名・氏名 を記入
位置	●●県●●市●●町1丁目1番地			
設置者等 ※個人名の場合職名も記載	社会医療法人●●会	管理者	職名	氏名
			センター長	●● ●●
設置年月日	●●年●月●日			必ず年月日 を記載
診療科名等 ※または事業内容	循環器内科、……			合計 18診療科
病床	病床種	一般		合計
	病床数	250		250
申請前年度、前々年度の2年分とする				
最近の患者数等 ※診療科名・事業内容に合わせた過去2年分を記載	○●年度 入院患者数 延●●●●人、外来患者数 延●●●●人 □□年度 入院患者数 延□□□□人、外来患者数 延□□□□人			
学校からの距離等	距離	5. 2km	交通機関	片道所用時間
			●●線	30分
実習生受入状況 (●●年度)	学校等名	年間受入延人数 (実数)		
	A 大学	120	(60)	
	B 看護専門学校	60	(30)	
指定規則に定める設備	記載不要			

(注)
1 所
2
3 学療

生徒が自宅から行く場合でも、書類上の目安として、学校からの距離を記載すること

23年法律第205号)第1条の5に定める病院を実習施設と合には、適宜項目の変更又は追加をすること。
合は施設別に記載すること。
当該実習施設において、標榜する診療科名や実施している事業として位置付けられていない診療部門については、事業内容を記載すること。

所要時間が2時間以上の場合は、配慮事項として安全面や経済的負担など生徒への配慮、指導体制を記載した書類を添付してください(様式任意)

- 4 「最近の患者数等」の欄について 申請書提出時の前年度及び前々年度の年別の入院患者数を記入すること。訪問看護ステーションについては、訪問回数の年間延数を記入すること。公衆衛生看護学実習における産業保健、学校保健等の実習施設については、保健室等の年間延利用者数を記入すること。それ以外の施設については、診療科名等に記載した事業の年間利用者数を記入すること。
- 5 「学校からの距離等」の欄には、当該申請校から交通機関等(徒歩、自家用車を含む)の距離及び時間を記入する。
- 6 「実習生受入状況」の欄には、申請時の前年度における当該実習病院の年間の受入れ学校名及び受入れ延人数、()内には実数を記入すること。(学校等数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。)
- 7 実習施設の変更承認申請の場合には、変更後に新規に使用する実習施設についてのみ作成すること。
- 8 提出の際は(注)以下を削除すること。

使用する実習施設ごとに記入しますが、開設者等が同一の場合は、**同時申請に限り**実習施設名を併記しても差し支えありません

承 諾 書

●●県立虎ノ門高等学校 ○○科の実習施設として、●年 ●月 ●●日より医療法人●● ●●病院、○○病院を使用することを承諾します。

承諾に際して付した条件

基本、実際に実習施設として使用を開始する年月日 ※開始年月日が不明の場合、早い分には問題ないが、その分、申請期限も早まるため申請期限に注意

○○年 ●月 ●●日

・実習を行う際には、事前に受け入れ人数及び実習内容、計画について事前に調整を行うこと。

開設者又は長の職名・氏名

医療法人●● ●●病院長 ●●●●

学校法人○○○ ●● ●●●● 殿

押印・原本証明ともに不要
あっても問題はありません

文部科学大臣が指定する看護師学校等の関係法令

区 分	指 定 申 請 書	変 更 承 認 申 請 書				指 定 取 消 申 請 書	変 更 届 出 書	
		学 則 の 変 更		そ の 他 の 承 認 を 要 す る 変 更				
関 係 法 令	保健師助産師看護師法施行令 昭和28年12月8日 政令第386号	新規指定 (第12条)	課程、修業年限、 入学定員の変更	教育課程 の変更	校舎の各室の 用途及び面積 の変更	実習施設 の変更	指定の取り消しを 受けようとするとき (第17条)	主務大臣が 定める事項 (第13条第2項)
	診療放射線技師法施行令 昭和28年12月8日 政令第385号	" (第8条)	修業年限、入学 定員の変更	"	"	"	" (第13条)	" (第9条第2項)
	臨床検査技師等に関する法律施行令 昭和33年7月21日 政令第226号	" (第11条)	"	"	"	"	" (第16条)	" (第12条第2項)
	理学療法士及び作業療法士法施行令 昭和40年10月1日 政令第327号	" (第10条)	"	"	"	"	" (第15条)	" (第11条第2項)
	視能訓練士法施行令 昭和46年7月16日 政令第246号	" (第11条)	"	"	"	"	" (第16条)	" (第12条第2項)
	言語聴覚士学校養成所指定規則 平成10年8月28日 文部省令・厚生省令第2号	" (第2条)	"	"	"	"	" (第8条)	" (第3条第3項)
	臨床工学技士学校養成所指定規則 昭和63年3月28日 文部省令・厚生省令第2号	" (第2条)	"	"	"	"	" (第8条)	" (第3条第3項)
	義肢装具士学校養成所指定規則 昭和63年3月28日 文部省令・厚生省令第3号	" (第2条)	"	"	"	"	" (第8条)	" (第3条第3項)
	救急救命士学校養成所指定規則 平成3年8月14日 文部省令・厚生省令第2号	" (第2条)	"	"	"	"	" (第8条)	" (第3条第3項)
	歯科衛生士法施行令 平成3年6月28日 政令第226号	" (第3条)	"	学科課程 の変更	"	"	" (第8条の2)	" (第4条第2項)
	歯科技工士法施行令 昭和30年9月7日 政令第228号	" (第10条)	"	"	"	"	" (第16条)	" (第11条第2項)
	あん摩マッサージ指圧師、はり師、 きゆう師等に関する法律施行令 平成4年9月24日 政令第301号	" (第2条)	修業年限、生徒の 定員の変更	教育課程 の変更	"	※	" (第7条)	" (第3条第2項)
	柔道整復師法施行令 平成4年9月24日 政令第302号	" (第3条)	"	"	"	※	" (第8条)	" (第4条第2項)

※ あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゆう師学校及び柔道整復師学校の実習施設の変更については届出事項となる

注) 指定(認定)申請書、変更承認申請書、変更届出書及び指定(認定)取消し申請書は、いずれも所在地の都道府県知事(大学及び短期大学以外の公立の学校にあっては、都道府県教育委員会)を経由して、文部科学大臣に提出すること。(但し、臨床工学技士、義肢装具士、救急救命士及び言語聴覚士は公私立の指定学校設置者より文部科学大臣に直接申請)